

第三回

日本語コミュニケーション

研究会

〈参加自由〉

日時:2013年2月1日(金)

会場:創価大学
文系C棟208教室

連絡先:山岡政紀(myamaoka@soka.ac.jp)

《プログラム》

〈第1セッション〉

9:30-10:00 Phoumarino Mathina(マティナ)(筑波大学大学院生)

「ラオス人日本語学習者の『説明文』『意見文』の分析——難易度推定と表現形式の観点から——」

10:00-10:30 王瑞舒(創価大学大学院生)

「『と思っている』に関する考察——配慮表現の立場から——」

10:30-11:00 山岡政紀(創価大学)

「文機能とアスペクトの相関をめぐる一考察——動詞テイル形の解釈をめぐって——」

11:00-11:30 大和啓子(群馬大学)

「ソウ系応答表現の機能について」

(11:30-13:00 昼食・休憩)

〈第2セッション〉

13:00-13:30 許允瑄(ホ ユンソン)(筑波大学大学院生)

「関連性理論から見た『かもしれない』について——感情表出文に注目して——」

13:30-14:00 朱炫姝(ジュヒョンジュ)(筑波大学大学院生)

「語用論的観点から見た授受表現の日韓対照研究」

14:00-14:30 大堀裕美(創価大学大学院生)

「日本語の二重否定の分類——非形式的二重否定を考える——」

14:30-15:00 牧原 功(群馬大学)

「ポライトネスと意志のコントロール性——動詞の自他の選択との関わりから——」

(15:00-15:30 休憩)

〈第3セッション〉

15:30-16:00 李国玲(リ コクレイ)(筑波大学大学院生)

「『不満表明行為』の言語表現について——日本語母語話者と中国人日本語学習者を比較して——」

16:00-16:30 李奇楠(北京大学)

「ユーモアと発話について」

16:30-17:00 小野正樹(筑波大学)

「『ありがとう』と『すみません』に関する一考察」

17:00-17:30 金玉任(キム オギム)(誠信女子大学)

「非難に用いられる終助詞『ね』と『よね』の配慮機能」

※18:00 懇親会